



沖縄県という大事な地域特性を基に、医学部及び附属病院の教育研究を発展させてゆきます。



琉球大学 医学部長
石田 肇 先生

質問 1. 琉球大学医学部長ご就任おめでとうございます。ご就任に当たってのご感想と今後の抱負をお聞かせ下さい。

平成 29 年 4 月 1 日付けで、琉球大学医学部長に就任いたしました。どうぞ、よろしく願っています。平成 10 年 5 月 1 日に琉球大学医学部に赴任させていただいてから、医学科教務委員長、教育研究評議会評議員、医学科長ならびに副医学部長として、働いてまいりました。医学部長になった感想としては、まずは、責任の重さを痛感しております。と言いますのは、今度は、全国 82 医学部との競争が待っている中で、琉球大学医学部をさらに発展させていかなくてはならないという責任があるからです。抱負ですが、学部の発展のためには、大学本部、文部科学省、内閣府、沖縄県と密接な関係を保ちながら、沖縄県という大事な地域特性を基に、学生教育および医学研究に取り組み、医学部を国際的なレベルに発展させなくてはならないと考えています。

質問 2. 貴学部での、臨床、研究、人材育成について今後の課題、方針などについてお聞かせ下さい。

研究面では、3 月に日本解剖学会総会で特別講演をした時に、この沖縄の特性について、

AMED のプログラム・ディレクターの方から「国内の疾患をターゲットとしたゲノム・臨床研究をどのような地域や住民を対象にして行うのが適切なのか、という点を AMED から明確にしてほしいと言われております。」ということで、沖縄県がいかに大事な地域であるか、興味を持って見ていると言われております。すでに、たくさんの研究が進んでいますが、沖縄の特性を生かした研究を進めることが大事であると思っています。課題としては、運営費交付金の削減が続き、研究活動の活性化のためには外部資金獲得（概算要求、競争的資金、県との合同事業など）が必須です。そのためには、臨床医学と基礎医学、保健医学との共同研究を推進する必要があります。例えば、先端医学研究センターにおける臨床と基礎の橋渡し研究体制の整備が進んでいますが、より一層の強化が求められます。

基礎出身なので、臨床そのものに言及することは差し控えたいのですが、病院長を中心とするガバナンスが重要と考えております。

人材育成ですが、学部教育では、医学教育企画室（教務委員会、学生生活委員会）を中心に、ミッションと医学教育分野別認証（8つの卒業時コンピテンス）を基にした医学教育を行い、

優れた医師・医学研究者養成を実施してゆきたいと考えています。先ほど述べたように、沖縄の地域特性を大事にしながら、国際性を併せ持つことがミッションに書かれていますので、医科学研究、臨床実習などで、その点を重視してゆきます。地域枠では、離島北部枠も合わせて全体で17名となります。その学生の教育もありますが、全体として、シームレスな卒前卒後の教育を充実させたいと思います。卒後の人材育成では、大学院医学研究科に多数の医師が入学していますので、沖縄の健康長寿崩壊を復興し、アジアの国々に貢献できる人材の育成や研究を行うことができるのではと思います。

質問3. 医学部および附属病院の西普天間への移転計画の進捗状況についてお聞かせ下さい。

上記の課題実現のため、医学部発展の最大要素と考えます。医学部構成員が一丸となって取り組んでゆきます。平成28年度に作成した基本計画を基に、今年度から、実質的な基本設計に入ります。就任以来、本学の大城学長、須加原理事、福治理事、西田理事とも話をしております。ご存知のように、西普天間住宅地区における国際医療拠点の形成に関する協議会報告がまとめられ、平成29年4月26日に公表されました。そこでは、「国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点」を目指すために、高度医療・研究機能の拡充、地域医療水準の向上、国際研究協力、医療人材育成が掲げられています。宜野湾市による土地の先行取得は平成29年度末までには完了する見込みです。平成29年5月23日の自由民主党政務調査会が出した、「今後の沖縄振興の方向性について」の中でも、移設

する琉球大学医学部及び同附属病院を核として高度な医療・研究の拡充や地域医療水準の向上などを図る拠点形成と書かれています。さらに6月9日に内閣府から発表された、いわゆる骨太の方針2017では、「移設に着手し」と書かれています。平成36年度末に移転完了を目指す基本計画に書き込みましたが、全ては、これからの努力次第と考えています。

質問4. 県医師会に対するご要望がございましたらお聞かせください。

すでに、医学部教育、卒後教育では大変お世話になっております。また、沖縄バイオインフォメーションバンク構築のために、多数の方々には、ご協力をいただいております。ここに感謝申し上げます。先ほどの協議会報告でも、申し上げましたが、沖縄県内の地域医療水準の向上が挙げられています。その達成のために、県医師会を始め、各地区の医師会とのより強い相互連携が必要と考えています。どうぞ、よろしく願いいたします。

質問5. 最後に日頃の健康法、ご趣味、座右の銘等がございましたらお聞かせ下さい。

もともと、考古学が趣味ですが、解剖学を仕事としてしまったので、趣味がなくなりました。ただ、歩くのも趣味です。しかし、泡盛を嗜むのが好きで、結果として不健康な日々を送っています。

この度はお忙しい中、ご回答頂きまして、誠に有難うございました。

インタビューアー：広報委員 清水 雄介